

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	社会福祉法人 宇治明星園 明星保育園	施設 種別	保育所 (旧体系 : )
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会		

平成 2 1 年 1 月 2 1 日

総 評	<p>明星保育園は、宇治の黄檗山萬福寺からほど近い住宅地のなかにあり、宇治市内で高齢者福祉を数多く事業展開する社会福祉法人宇治明星園が運営しています。法人の手厚い援助を受けて、この保育所では「生活力あるこども（自分でできることは自分でやる）」という理念に沿い、経験豊富な職員の指導のもと、園児ひとりひとりの個性を尊重した保育が行われています。園児のやる気を引き出す竹馬乗り、雑巾がけ、野菜の皮むきなど、年齢による発達や興味・関心に合わせた題材を提供しています。これらの取り組みが毎年、年長から年少の園児に受け継がれてきています。これにより、園児の結束力が強まるとともに、ひとりひとりの気持ちも安定し好きな遊びに集中できる環境が整っています。このことは園児のいきいきとした表情及び眼の輝きから伺えました。また同法人内の高齢者の方々との交流を図る取り組みもなされており、法人内の連携はできています。</p> <p>明星保育園として優れている面をさらに伸ばし、保護者のニーズや課題を把握するために今後も利用者満足度調査を実施して業務改善に努め、サービス向上のための方策についてご検討ください。管理者をはじめ職員の方々は、今回初めて受診された第三者評価をもとに、地域に開かれた保育所となるように期待します。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会福祉法人の理念が確立しており、それをもとに運営がなされています。管理者も保護者、地域の要望を受け入れて延長保育を行うなど、園の運営に活かしておられます。</li> <li>● 職員も経験の長い方が多くてチームワークも良く、園長、スタッフが子育て支援に積極的に取り組んでおられる熱意が伝わってきました。</li> <li>● 園児の生活力を豊かに育てる取り組みが随所に見受けられました。園児の主体性、協調性が発揮されています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個人別、経験年数別の研修計画を作成し、その達成状況を図るための人事考課制度の導入が求められます。職員ひとりひとりの得意分野をさらに伸ばして保育に役立たせるような支援体制もご検討ください。</li> <li>● 職員と保護者との日頃からの連携を、よりいっそう強化することが望まれます。</li> <li>● 担任は日々、園児の記録を手書きで記入していますが、業務の効率化をはかることが求められます。</li> </ul>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【共通評価基準】

# 評価結果対比シート

---

受診施設名	社会福祉法人 宇治明星園 明星保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成21年1月21日

## I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	B	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	B	B
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	B
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

## 【自由記述欄】

- ・ I-1-(1)①②法人内の理念が玄関先にかかげられていて、入園時に配布される園のしおりにも掲載されています。
- ・ I-1-(2)②園だよりなどを保護者の他に、地域にも配布するなどの取り組みが望まれます。
- ・ I-2-(1)社会福祉法人としての長期計画が策定されていて、それに基づく事業計画が策定されています。
- ・ I-2-(2)①管理者は事業計画についても職員の意見を幅広く取り入れる配慮をされています。
- ・ I-2-(2)②保育園の事業計画の進捗状況が会議で適宜、審議され見直されています。その結果を職員に周知し以後の園の運営にも活かす工夫がされています。
- ・ I-3-(1)①管理者の果たすべき役割・責任の検証及び職員・保護者からの信頼を得ているかの検証ができていませんでした。
- ・ I-3-(1)②管理者は幅広い視野から保育所の運営や会合等に参加し、遵守すべき法令を職員に伝えています。
- ・ I-3-(2)①管理者は職員会議等で意見を募って業務を改善していますが、よりいっそうの工夫を期待します。
- ・ I-3-(2)②管理者は業務のよりいっそうの効率化及び経営改善に積極的に取り組んでいます。

II 組織の運営管理

【共通評価基準 評価結果対比シート】

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	該当なし	
		③ 外部監査が実施されている。	該当なし	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	C	C
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		B	B	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	B	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	A
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	B	B
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	B	B
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		B	A	

【自由記述欄】

II-1-(1)①関連団体、園長会議、府社会福祉施設経営者協議会等で情報の収集をされています。把握された情報やデータを短期・中期・長期の計画に反映されています。

II-2-(1)①各クラス担任とも複数の保育士を配置され、職員の基準配置数16名に対し、23名体制を維持され、障害児等の受け入れにも努力されています。

II-2-(1)②職員に対する定期的な人事考課が、独自に作成された「職能基準書」に基づき年2回実施されています。実施された人事考課に対して、1次・2次考課者がその結果に基づき被考課者にフィードバックされています。

II-2-(2)①職員も多くおられますので、有給休暇が取りやすくなるような体制づくりを望みます。

II-2-(2)②京都市府民間社会福祉施設職員共済会に加入され、その他に年2回被服(作業着)の支給や、インフルエンザの予防接種料の全額負担、親睦会などの行うリクリエーションの一部負担等積極的に取り組みされています。

II-2-(3)①保育サービスの向上のための教育・研修計画に基づき、年1回は本人の希望する研修に、他の1回は園として必要と認められる研修に参加しておられます。

II-2-(3)①個別の職員の得意分野を伸ばしていけるように、また園の特徴である音楽を取り入れたものや、障害児に対応する保育等の計画や取り組みが行われています。

II-2-(3)②職員1人ひとりについても、目標のある個別研修計画を具体的に策定されてはいかがでしょうか。

II-2-(3)③研修後のレポート作成、報告はされています。研修成果に関する評価・分析をされ、より効果的、適切な研修計画の策定に活かされてはいかがでしょうか。

II-2-(4)①基本姿勢を明文化し、積極的に受入れ主任保育士が担当されています。マニュアルは整備され、見直しもされています。

II-2-(4)②実習段階に応じたプログラムが用意され、職員が関わりながら様々な経験ができるように工夫をされています。子どもとの信頼関係を築いていくことに重点をおき取り組まれています。個別の計画書は作成されていませんでした。

II-3-(1)①管理者が加わった感染予防や、安全管理の委員会があり、事故発生マニュアルを作成し、きめ細かな体制が整備されています。

II-3-(1)②年に1回消火・避難・地震訓練を行い安全確保や事故防止に取り組んでおられます。又月に1回園舎等を巡回し「遊具等点検簿」により点検を行うとともに、園の外で起こった事例や想定されるヒヤリハット事例を提示されて注意を促し、事故防止に努められています。

II-4-(1)①月1回園庭開放事業を行い、参加者の子どもと園児との交流を図っておられます。又、「タベのつどい」での模擬店やバザーの収益金を活用して、地域の小学校で、劇団を招いての催しに地域の人々も招待される(400名)など積極的に交流を図っておられます。

II-4-(1)②広報誌や、地域向けのパンフレットも発行し情報提供をされ、随時施設見学、子育て相談にも対応されています。同法人内の特別養護老人ホームを訪問して高齢者とも交流を図っておられます。

II-4-(1)③マニュアルが整備され夏休み中の学生や、中学生の体験学習、卒業論文作成の名目での学生等の受け入れが積極的に行われています。

II-4-(2)①市子育て支援基幹センター・児童相談所・保健所・学校・医療機関・民生児童委員・福祉機関等の社会資源との連絡方法「児童福祉関係機関」リストが作成され、情報は職員会議等で共有されています。

II-4-(2)②宇治市発達相談、保健所発達クリニックと連携され、保幼小連絡会議にも欠かさず出席されて連携・対応されています。今後は、地域の「東宇治地区の子育て支援の拠点」としての役割に対しても取り組んでいかれることを期待します。

II-4-(3)①保幼小連絡会議、地区の民生・児童委員、子育てサロンにも出席され、随時情報を得て、ニーズの把握をされています。また地区の民生・児童協議会会長は、当園の苦情窓口の第三者委員も委ねられています。

II-4-(3)②子育て相談、園庭開放事業等を通して子育て等のニーズを把握し、長時間保育や定員増に関しての計画が策定されています。

## Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	A
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	A
	Ⅲ-1-2 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	B	A
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	B	B
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	A
	Ⅲ-1-3 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	A
Ⅲ-2-1 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B	A
		② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
		③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	C	C
Ⅲ-2-2 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。	① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	B	A	
	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
	Ⅲ-2-3 サービス実施の記録が適切に行われている。	① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	B	B
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-1 サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-2 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。		C	C	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-1 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B	A
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	A
	Ⅲ-4-2 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	A	A
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	A

## 【自由記述欄】

Ⅲ-1-1(1)①園児一人ひとりの記録がクラス毎の中間総括書に記載されています。  
Ⅲ-1-1(1)②本園のプライバシー保護の取り扱いマニュアルを整備・改訂し、担当職員が法人の人権研修会に出席しておられます。  
Ⅲ-1-2(1)①個人懇談会のレジュメや園便りの中で、保護者に意見等を積極的に受けるよう働きかけておられます。また作品展、運動会、生活発表会でアンケートをとっておられます。  
Ⅲ-1-2(2)②実行委員会をたてておられ、各反省会後のまとめや発表会の反省などの記録や資料は多くあります。今後も系統だった整理をしてください。  
Ⅲ-1-3(1)①開かれた保育園を目指しておられ、苦情処理システム体系図があります。  
Ⅲ-1-3(1)②法人の機関紙「一年のあゆみ」の中で情報公開がされています。  
Ⅲ-1-3(1)③仕組みは、入園説明会時に説明され、苦情は一週間以内に回答しておられます。  
Ⅲ-2-1(1)①今回の第三者評価受診にあたり、職員全員で、評価検討されました。  
Ⅲ-2-1(1)②分析された結果やそれに基づく課題の文書化をご検討ください。  
Ⅲ-2-1(1)③公表を受けるとその日のうちに本部に連絡されているものの、両者の意思疎通を系統だてて文書化していくことを今後の課題とされています。  
Ⅲ-2-2(1)①基本的な生活習慣として保育場面ごとの「睡眠」「着脱」「排泄」などのマニュアルをしっかりと整備しておられます。  
Ⅲ-2-2(2)②毎週一回の部会に加え、年度始め、中間総括、年度末に意見交換を行い、課題を明確にして、次につなげておられます。  
Ⅲ-2-3(1)①乳幼児一人ひとりの記録は揃っていますが、3歳児以上の記録をより充実させてください。  
Ⅲ-2-3(2)②記録の管理は職員室に施錠して管理されるなど、「個人情報管理規程」に基づいた適切な管理が行われています。  
Ⅲ-2-3(3)③週に一回の部会、月に一回の職員会議で報告や、事例検討を行い、パート職員への伝達も適切にされています。  
Ⅲ-3-1(1)①「園のしおり」を利用者や見学者に渡されていますが、今後はこれらの資料を地域にあるコミュニティセンターなどにも幅広くおかれることをお勧めします。  
Ⅲ-3-1(2)②新入園児の保護者には、入園説明会の折に、途中入園の場合は、そのつど「園のしおり」と共に、3点セット(駐車場の使用、苦情等相談窓口、個人情報の取り扱い)の説明がされています。  
Ⅲ-3-2(1)①個人情報を守るという事情もあるのですが、転園先との連携がとれていない点が、今後の課題です。  
Ⅲ-4-1(1)①入園前の児童の生育歴等の聞き取り、入園後の慣らし保育等を、手順どおりにアセスメントされています。  
Ⅲ-4-1(2)②障がい児の受け入れにあたって、経管栄養の園児を、主治医と連携をとって保育されています。  
Ⅲ-4-2(1)①担任間で策定された指導計画は、全職員で協議され、園長の承認を得る体制が整っています。  
Ⅲ-4-2(2)②サービスについては、部会・会議等で定期的に評価、検討されています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

---

受診施設名	社会福祉法人 宇治明星園明星保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成21年1月21日

## 【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1)発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	B	B
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	B	A
	(2)健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

## 【自由記述欄】

・A-1-(1)①保育計画を策定するために、地域、家庭事情、保護者の意向等を把握することが望まれます。  
 ・A-1-(1)②主任と担任が半期ごとに指導計画を総括する他、必要とあれば随時の検討も行われています。  
 ・A-1-(2)①②園児の健康管理は、マニュアルにより、適切に行われています。SIDSに対しても園児の睡眠中には必ず職員が付添うとともに、休眠前の服装にも配慮しています。  
 ・A-1-(2)③歯科検診の結果を職員が把握して保育に活かしています。  
 ・A-1-(2)⑤⑥栄養士が園児食育に対して、強い関心があり、季節感、薄味、食べることが好きになるものを献立で作成し、調理しています。離乳食についても混ぜ合わせるのではなく、一品ごとに食べやすく加工して、それぞれの味に親しむように取り組んでいます。箸の使用は3歳ごろの行事を起点にし、素材は木の箸に拘って園児が自然に箸を馴染んで使えるように工夫しています。また3歳児以上の年長児は食事の準備から後片付けまで、主体的に行動できるように支援しています。  
 ・A-1-(2)⑦⑧保育所と家庭が密に連携をとって食育に貢献しています。またかかりつけ医の指示により、アレルギーの園児には除去食を工夫して調理しています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3)保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4)保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けられないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

## 【自由記述欄】

・A-1-(4)①②園児ひとりひとりの特徴を良く捉えて、環境に適合するように保育士が支援しています。各園児の記録は日々詳細にとられています。

・A-1-(4)③④園舎の内外には園児が安心・安全に活動できるための環境があります。園庭整備、構築物の設置及び管理等にも保護者が精力的に関わっています。その中で園児同士が語り関係を深めていき、より良い保育環境となる基礎となっています。

・A-1-(4)⑤⑥園児の活動も年長児を模範として年々、継承されています。表現活動も先生の適切な指導に園児が順応してまともによく行われています。その中で園児同士の良好な人間関係が築かれています。

・A-1-(4)⑦⑧子どもの人権を尊重し、配慮がなされています。また性差がないように日々配慮されています。

・A-1-(4)⑨乳児保育の環境としてはスペースにも余裕があり十分に機能しています。職員はSIDS(乳幼児突然死症候群)について研修を重ね、園児の状態を常に気をつけています。

・A-1-(4)⑩長時間保育にも対応し、園児の体調及び栄養を考えています。補食のメニューを前もって、献立表にて掲げられています。

・A-1-(4)⑪障害児保育にも理解を示し、他の保育所では受け入れできない園児にも門戸を開いています。また障がいのある園児も他の園児と一緒に表現活動に参加しています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当
A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	B	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	非該当
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当

## 【自由記述欄】

・A-2-(1)①②③入園に当たっては、担任が園児及び保護者と面接してアセスメントが行われています。入園後も保護者と園との間で連絡帳及び行き帰りの保護者とのやりとりで園児の様子を送り送りをしています。その後も園児の保護者とは行事も含め、機会あるごとに情報を得て理解を深めています。

・A-3-(1)①②調理場、授乳室、水周りなどは整理・整頓され清潔に保たれています。食中毒等に関してもマニュアル等が整備され、衛生面には職員一同で注意しています。